園長だより

2020 spring
新渡戸文化子ども園

「コロナ」と「先生方」

いよいよ、2020 年度が始まります。桜は咲いたと聞いたように思いますが、どうしても見る時間がありません。常に「サクラ」の単語が頭に浮かぶ春ではなく、「コロナ」が頭から離れないからです。

誰が、こんな春を予想していたでしょう？本当だったら、子どもと写真屋さんに行って入園の記念撮影をし、遠くにいるおじいちゃま、おばあちゃまに送らなきゃ。本当だったら、入園式の後、ホテルのレストランで、おじいちゃま、おばあちゃまをご招待して、皆で、お祝いをいたしましょう。本当だったら。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。

子ども園でも同じです。先生方が、本当だったら。。。。と何度言ったことでしょう。普段だったら「気にしないで前向きにいこう！」とすぐに声がけが出る私も、つい「そうだよね。」と聞き入ってしまっていました。

いつまで続くのでしょう？「コロナ」

しかし、いざ新学期が近づくと「園長先生！こうしたらどうでしょう？」「こうしたらいけるかも？」と、心を切り替え、4 月以降の話を改善できるようにと、とことん話し合う姿勢が見られるようになりました。若い力に助けられます。

まず、戸外遊び等も時間を区切り学年ごとに、また長時間保育のお昼寝も学年ごとにいたしましょう。そうすれば、拡散しないですよね。毎日 3 回はドアノブや保育室の主要な部分を 3 回消毒等々いたしましょう。等々。

幼児ですので集団生活の中で接触を禁止することは難しく、できることには限りがありますが、最大限の注意を払い、国や東京都から指示が出ておりますコロナ対策に全てを注力をしながら保育をしております。
先生方も命懸けでお子様方に不安を感じさせないよう笑顔でいる姿を見ると心が震える日々です。いつもと違う環境、状況、そしてお子様方への介助、言葉がけ等々、「命、健康安全」を第一に考慮した保育を行なっている先生方が、健康でいることもこの局面を乗り切るとても重要な要素です。

この局面を全員が無事に乗り切るため、お子様方、保護者様、先生方が、一丸となって一人一人が小さな「気をつける」そして「親として冷静に」ご協力いただきますよう切にお願いしたいと考えております。

このような事態はほとんどの方が初めてのご経験だと思います。だからこそ、見えないコロナへ立ち向かう「勇気」と「チームワーク」を大人が規範となってお子様方に見せることのできる最大の機会と言っても良いと考えております。

「共育」の最大の機会と捉え、保護者様と先生方がしっかりと手を取り合ってこの大きな山を越えていけますよう「新渡戸先生。お空にいらっしゃるのならお願いします。力をお貸しください。」と、「沈黙」する 2020 年の春でございます。